

NFT マーケットプレイスに追加機能ガチャを実装 ～FISCO コインレンディングアプリケーションと連動～

株式会社 FISCO Decentralized Application Platform (本社: 大阪府岸和田市、代表取締役: 城丸修一、以下、「FDAP」) は、NFT マーケットプレイスを運営しており、この度、本プロジェクトにおける追加機能としてのガチャ機能の開発が完了しましたのでお知らせいたします。

NFT マーケットプレイスは、2020 年 12 月から 2021 年 5 月にかけて株式会社フィスコ(グロス上場、証券コード「3807」、本社: 東京都港区、代表取締役社長: 狩野仁志、以下、「フィスコ」) が実施したフィスココイン (FSCC) スタートアップコンテストにて、開発が決定した経緯があります。現状、FDAP がシステムを保有し、運営を実施しています。

また、本マーケットプレイスは、暗号資産交換所「Zaif」を運営する株式会社カイカエクステンジ(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 鈴木 伸) との間でネーミングライツ(命名権) 契約が締結されており、「[Zaif NFT Marketplace](#)」というサービス名称で運営されています。

なお、Zaif NFT Marketplace は、アート・サブカルチャーなどを含む日本の文化を NFT *1 化し、ユーザー間で売買できるフロントエンドアプリケーションです。NFT をバブルで終わらせないために NFT への新たな付加価値の提案を実行し、新たなアーティスト・クリエイター支援のスキームを提供することで、日本のコンテンツを世界へ発信していく仕組みです。キャッチフレーズである「日本の文化を NFT へ、NFT を世界へ」のもと、国内では本アプリケーションにて NFT を発行し、オークション機能にて取引が可能です。

2022 年 2 月の開発においては、国内で本アプリケーションを通じて NFT を発行し、本 NFT マーケットプレイス内および他のマーケットプレイスにおいてオークションによる取引が可能となり、さらには暗号資産での支払いに馴染みのないユーザーからの参入障壁をなくすため、暗号資産だけでなくクレジットカードなどの一般的な決済手段でもオークションに参加できるような機能が実装されておりました。

今回の開発では、ガチャ機能として本 NFT マーケットプレイス内において一定の条件 *2 に合致した場合、NFT を受け取ることが出来る機能を開発しました。本ガチャ機能においては上述の一定の条件を伴うことから一般的な利益の得喪を伴うランダムくじのようなものとは多少の差異はありますが、他のマーケットプレイスには無い機能としてユニーク性に富んだ機能となっております。

本機能の追加により、NFT マーケットプレイスを通じた NFT 市場拡大を狙っております。

*1「NFT」とは、Non-Fungible Token の略語。代替の可能性のないブロックチェーン上のトークンです。

*2 一定の条件(2022 年7月 14 日開発時現在。最新条件については本マーケットプレイス URL からご確認ください。)

- ・本マーケットプレイスでのアカウント登録がなされていること
- ・FDAP が展開するサービス「FISCO コインレンディングアプリケーション」において 100 枚以上のレンディングがなされていること
- ・1日1回以内であること

News Release

【株式会社 FISCO Decentralized Application Platform の概要】

所在地:大阪府岸和田市荒木町二丁目 18 番 15 号

設立日:2017 年 9 月 12 日

資本金:75 百万円(2020 年 12 月 31 日現在)

代表者:代表取締役 城丸 修一

事業内容:暗号資産を含む運用、アプリケーションの開発・運用等